

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
声優・演劇科											
舞台実習Ⅳ											
対象	2 年次	開講期	後期	区分	選	種別	実習	時間数	70	単位	2
担当教員	室生 春			実務 経験	有	職種	俳優、演出家				
授業概要											
舞台演技の表現能力の向上を図り、集団で舞台芸術作品を制作するプロセスを実践的に学びます。											
到達目標											
学生が舞台空間で生き抜くことの難しさを実感し、実践することで俳優業を理解することが目標である。役者として活動を続けるために必要な努力を模索し、更に、発声力、歌唱力、身体表現力をより発展させ、よりクオリティの高いものを目指しながら、今後の進路、役者としての仕事を深く考察できる力を養うことも目標に加える。											
授業方法											
俳優論を理解し、俳優術を具体的に体感していく。舞台実習Ⅱと並行し授業に自信を持って参加できるように、演技の基礎、作品、人物の理解を丁寧に紐解き実践していく。そして、発声力、歌唱力、滑舌力も並行して鍛錬していき最終的に「卒業制作」へと繋げていく足掛かりとなる。											
成績評価方法											
実際の公演形式の中での演技表現を総合的に評価する。											
履修上の注意											
学生の心身が健全、健康であることを何より優先する。学生とのコミュニケーションを重視し、明るく、清しい授業空間を創ることが肝要である。また、快活で積極的な授業参加を求めるため理由のない遅刻や欠席は認めない。態度が改善されない場合、配役の変更や降板をすることもある。授業時数の4分の3を出席しないものは定期試験を受けることができない。											
教科書教材											
演劇戯曲の台本を中心に使用、必要に応じて配布。ミュージカル戯曲の場合は楽譜を必要に応じて配布。											
回数	授業計画										
第 1 回	成果発表用台本の基礎稽古（1）										
第 2 回	成果発表用台本の基礎稽古（2）										
第 3 回	成果発表用台本の基礎稽古（3）										

2020年度 日本工学院八王子専門学校	
声優・演劇科	
舞台実習Ⅳ	
第4回	成果発表用台本の基礎稽古（4）
第5回	成果発表用台本の基礎稽古（5）
第6回	成果発表用台本の応用稽古（1）
第7回	成果発表用台本の応用稽古（2）
第8回	成果発表用台本の応用稽古（3）
第9回	成果発表用台本の応用稽古（4）
第10回	成果発表用台本の応用稽古（5）